FLASH ANZAN LAB ｜ 毎日のいきいき脳トレシリーズ（シート①）

大人の脳トレ フラッシュ暗算【脳トレ 09】

応用・第9回 ｜ 1桁 3〜4つ（±）（ゆっくり1.6秒〜1.4秒） ｜ 全10問

実施日：　　月　　日（　　曜日）

天　気：（　晴　・　曇　・　雨　）

▶ YouTube動画と連動
右のQRを読み取るか
下の番号で検索！
動画番号：
【脳トレ 09】
応用・第9回（全10問）

YouTube検索ワード：
「フラッシュ暗算 脳トレ 09」

お名前：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　**得点：**　　/ 10 問

1. 動画を見て、大きく答えを書きましょう（全10問・解答欄）

右上のQRコード、またはYouTubeで **「フラッシュ暗算 脳トレ 09」** を検索して再生し、太線の上に大きく答えを書きましょう。

前半：第1問 〜 第5問（答え記入欄）	後半：第6問 〜 第10問（答え記入欄）
第 1 問 (3つ)：＿＿＿＿＿　（ ○ ・ レ ）	**第 6 問** (3つ)：＿＿＿＿＿　（ ○ ・ レ ）
第 2 問 (3つ)：＿＿＿＿＿　（ ○ ・ レ ）	**第 7 問** (3つ)：＿＿＿＿＿　（ ○ ・ レ ）
第 3 問 (3つ)：＿＿＿＿＿　（ ○ ・ レ ）	**第 8 問** (4つ)：＿＿＿＿＿　（ ○ ・ レ ）
第 4 問 (3つ)：＿＿＿＿＿　（ ○ ・ レ ）	**第 9 問** (4つ)：＿＿＿＿＿　（ ○ ・ レ ）
第 5 問 (3つ)：＿＿＿＿＿　（ ○ ・ レ ）	**第10問** (4つ)：＿＿＿＿＿　（ ○ ・ レ ）
前半の正解：　　/ 5 問	**後半の正解：**　　/ 5 問

★ **脳トレのコツ：** 途中で数字を忘れてしまっても大丈夫です！「思い出そうと考えること」と「声に出す・手を動かして書くこと」で、脳の前頭葉がしっかり活性化します。

2. 紙の上でも計算してみましょう！縦書き計算ドリル（シート②）

動画【脳トレ 09】と同じ全10問です。**上から順番に数字を計算して**、一番下の「答え：」の欄に大きく合計を書きましょう。

前半：第 1 問 ～ 第 5 問（上から順番に計算しましょう）

第 1 問	第 2 問	第 3 問	第 4 問	第 5 問
6 −2 +3	8 −3 +4	7 +2 −4	9 −5 +6	5 +4 −3
答え：	答え：	答え：	答え：	答え：

後半：第 6 問 ～ 第10問（仕上げの計算にチャレンジ）

第 6 問	第 7 問	第 8 問	第 9 問	第10問
8 −2 +5	6 +5 −4	7 +3 −2 +4	9 −4 +5 +3	8 +4 −2 +5
答え：	答え：	答え：	答え：	答え：

1回目の記録（　月　日）	2回目の記録（　月　日）	3回目の記録（　月　日）
得点：　　/ 10問	得点：　　/ 10問	得点：　　/ 10問

【脳トレ認定目安】 7〜10問：脳トレマイスター ／ 4〜6問：ナイスチャレンジ ／ 1〜3問：参加花まる！

【別紙：解答・進行ガイド】 ※答え合わせ・進行用（配布時は1〜2ページ目のみお渡しください）

大人の脳トレ フラッシュ暗算【脳トレ 09】正解一覧 & 進行ポイント

【別紙 1】 全10問の正解と計算式の内訳（動画番号：脳トレ 09）

前半（第 1 問 〜 第 5 問）の正解と内訳	後半（第 6 問 〜 第10問）の正解と内訳
第 1 問： 答え 7 （ 6 − 2 ＋ 3 ＝ 7 ）	**第 6 問： 答え 11** （ 8 − 2 ＋ 5 ＝ 11 ）
第 2 問： 答え 9 （ 8 − 3 ＋ 4 ＝ 9 ）	**第 7 問： 答え 7** （ 6 ＋ 5 − 4 ＝ 7 ）
第 3 問： 答え 5 （ 7 ＋ 2 − 4 ＝ 5 ）	**第 8 問： 答え 12** （7 ＋ 3 − 2 ＋ 4 ＝ 12）
第 4 問： 答え 10 （ 9 − 5 ＋ 6 ＝ 10 ）	**第 9 問： 答え 13** （9 − 4 ＋ 5 ＋ 3 ＝ 13）
第 5 問： 答え 6 （ 5 ＋ 4 − 3 ＝ 6 ）	**第10問： 答え 15** （8 ＋ 4 − 2 ＋ 5 ＝ 15）

【別紙 2】 ご家族・グループ進行用：楽しく盛り上げる4つの声かけポイント

場面・タイミング	おすすめの声かけ・配慮のポイント
① 始める前の準備 （日付・天気の確認）	1ページ目上部の**「今日の日付・曜日・お天気」**を一緒に声に出して確認しながら記入します。日付や曜日を思い出すこと自体が、脳の見当識（時間や季節の感覚）を高めるウォーミングアップになります。
② 動画再生中のコツ （声に出す＆書く）	画面に数字が出ている間、小声や指先を使いながら追いかけてもOKと伝えます。4秒のシンキングタイムでは**「周りの方に聞こえる声で答えをどうぞ！」**と促すと一体感が生まれます。
③ この回の見どころ （【脳トレ 09】の特徴）	途中に「マイナス（−）の数字」が1つだけ混ざる応用編です。足し算から引き算へ頭を切り替えることで、前頭葉の注意制御機能（うっかりミスを防ぐ力）が強く刺激されます。
④ 採点・振り返り （「×」をつけない配慮）	1ページ目の採点欄は「×（バツ）」ではなく**「（ ○ ・ レ ）」**にしています。間違えた問題にも×はつけず、レ点や正しい数字を書き添えるだけにすると、プライドを傷つけず「次もやってみよう！」という意欲につながります。